企業に未来基準の元気を！

ADVANTAGE Risk Management Group

2019年2月12日

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
（東証第一部 コード8769）

管理職のコミュニケーション改善にEQ理論を活用

「パワハラ行動改善研修（EQ）」発売

～年間受講者約4,000名の実績をもつ当社のEQ研修プログラムをパワハラ対策に特化～

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメントは、EQ 理論を活用した管理職のパワーハラスメント(以降、「パワハラ」)対策特化型研修「パワハラ行動改善研修(EQ)」を発売します。政府が検討を進めるパワハラ防止措置の義務化対策として、企業にアプローチします。

当社が昨年 12 月末に実施したアンケート(＊)によると、回答者の 8 割弱がパワハラ対策を講じているものの、そのうち 4 割弱が「不十分」と考えており、対策の成果が出ていない実態が明らかとなりました。さらに、パワハラ当事者の意識が欠如していることや、パワハラと捉えられるリスクを恐れて部下とのコミュニケーション不全に陥ることを問題視する声も多く挙がっています。このような現状から、当社は、管理職が部下とのコミュニケーションを円滑にすることがパワハラの解決に繋がるものと考えています。 ＊当社のメールマガジン会員向けに実施し268名が回答。

当社はかねてより、「感情をうまく管理し、利用できる能力」を指すEQを可視化する「EQI®検査(行動特性検査)」や、同検査をもとにコミュニケーション改善を促す「感情マネジメント力（EQ）向上研修」を提供しています。受講者は年間約 4,000 名にのぼり、「部下から相談を持ち掛けられることが増えた」「部下に対し方向性や考え方を明示するよう意識するようになった」など、実効性のあるプログラムとして評価されています。

このたび開発した「パワハラ行動改善研修（EQ）」は、「感情マネジメント力（EQ）向上研修」をベースに、感情のコントロール能力や周囲に与える雰囲気、自己主張の度合いなど、パワハラにつながりやすい行動に着目したプログラムです。パワハラの潜在リスクに「気づき」を与え、研修後の「行動変容」を促し、その行動を定着させることを主な狙いとしています。

具体的には、約 3 カ月間で 2 回の集合型研修が行われ、受講者にはその期間内に自身の改善計画に基づきトレーニングを実践していただきます。さらに各研修前に「EQI 検査」の受検を組み込み、トレーニング前後に変化した行動量を比較することで「行動変容」を実感することができます。この一連のプログラムにより、トレーニングの継続を促し、行動変容への意欲を高めることで、研修の実効性を高めるものとなっています。

また企業の担当者向けには、受講者の EQI 検査結果をレポートとして提供することも可能です。管理職の行動特性を傾向値として把握できるため、次の打ち手に向けた検討材料としても活用できます。

当社は今後も、EQ理論を活用し、パワハラ等職場の様々な課題に対応したソリューションの開発を強化してまいります。

■「パワハラ行動改善研修（EQ）」概要

・概要：①パワハラに関する基礎知識の習得、企業や個人のリスクを確認
②「マインド」「受信」「発信」という観点から、パワハラにつながる行動を確認
③部下に受け入れられるコミュニケーションを学習
④行動目標を設定

・対象：管理職　　・実施人数の目安：30名程度
・時間：初回研修4時間 ＋ フォローアップ研修4時間

■参考:EQ の能力について

・「感情の識別」:気持ちを読み取る能力
相手の表情から、その人がどのように感じているかを正しく読み取り、その場の持つ雰囲気を的確に認識できる能力。

・「感情の利用」:その場・状況にふさわしい気持ちになる能力
効果的な問題解決や、創造性を発揮するために、どのような感情を作り出せば良いのかを知ることができ、実際にその感情を作り出す能力。

・「感情の理解」:気持ちから未来を予測する能力
相手がなぜそのように感じるのか、感情の起こる原因を正しく理解する能力。

・「感情の調整」:気持ちをともなって実行する能力
感情的になった場面でも問題解決への最善行動は何かを考え、最も効果的な行動を取ることができる能力。
対人関係を維持し、対人問題を解決するために、相手や状況に応じた最善な行動を取ることができる。

▼ 『パワハラ行動改善研修(EQ)』の資料請求・お問い合わせフォーム
https://armg.smktg.jp/cc/0x12z3Ev

■株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント(本社:東京都目黒区、代表取締役社長:鳥越 慎二)

1995 年、休職者の所得を補償する保険「GLTD(団体長期障害所得補償保険)」専業代理店として創業。
2002 年より、日本で初めてストレスチェックを取り入れた予防のための EAP(従業員支援プログラム)サービスの提供を開始。
現在はストレスチェック義務化に対応したメンタルサポートプログラム「アドバンテッジ タフネス」から、エンゲージメント向上やメンタルタフネス度向上を目的とした組織や個人の課題に応じたソリューションを提供。
そのほか、EQ(感情マネジメント力)とストレス耐性を見極める採用検査「アドバンテッジ インサイト」や各種研修など、生産性向上とリスク対策の両軸を捉えたソリューションメニューを展開している。
2017 年 12 月に東京証券取引所 市場第一部銘柄に指定。

【お問い合わせ先】
株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント http://www.armg.jp
(取材・広報に関して) 経営企画部 : 小林 幸子 TEL:03-5794-3890/pr-info@armg.jp
(当研修に関して) 採用・EQ ソリューション営業部 TEL:03-5794-3830